

今村和彦作 テーマ「生きがいについて」④ 「人はなんのために生きる？」

- 効果音 (電話の呼び鈴)
- 高橋 もしもし、高橋ですが。
- 伊藤 (フィルター音) おい、大変だ！ 加藤が死んだ！ 交通事故で。おれ、たった今、聞いたんだ。
- 高橋 おいおい、担ごうたって無理だぜ。エイプリルフルにはあと5日…。
- 伊藤 (フィルター音) バカ野郎！ 本当だってば！ おれだって信じられなかったよ。でもよ、あいつ、自転車乗ってて、酔っ払い運転のトラックにぶつけられたらしいんだ。頭の打ちどころが悪かったんだって。
- 高橋 おい、本当に…、本当なのか？
- 伊藤 (フィルター音) ああ。
- 高橋 でもまだ信じられないなあ。だって、あいつ、今日も学校で「柔道部のキャプテンになった」って言って、ピンピンしていたじゃないか。(間)とにかく、今すぐ行くよ。
- ナレーション 加藤君は、高橋君のクラスメートで、柔道部で体格もよく、その明朗活発な性格は、皆に好感をもたれていました。その加藤君が急に死んだと言われても、高橋君がすぐには信じられなかったのも無理はないでしょう。
- 高橋(モノローグ)(エコー) なんて、なんてあんないいやつが死ななきゃならないんだ？ 車に当たったって、車のほうが壊れそうなやつだったのに…。あいつの一生って、一体なんだったのだろう？ 柔道やって鍛えたって、結局なんの役にも立たなかったじゃないか。もしおれが、このおれが今、死んだらどうなるだろう？ おれがいくらあくせく生きてたって、死んじまったら何もかも同じじゃないか。そしたら生きてること自体が、むなしいんじゃないのか？ 結局、死んだら何もなくなるのだから。それならおれは、一体なんのために生きているんだ？
- ナレーション 自分は何のために生きているのか、この問いは、高橋君の心を限りなく悩ませました。というの、彼にはその答えが分からなかったからです。それで彼は、片っ端から友達に聞いて回りました。
- 高橋 おい、伊藤、お前、なんのために生きてる？
- 伊藤 おいおい、急に難しいこと言うなよ。
- 高橋 まあいいから、ごまかさなくてくれ。
- 伊藤 そうだな。自分が幸福になるためじゃないのか？
- 高橋 自分が幸福になって、どうするんだ？ お前が何をもって幸福と言うか知らないけど、もし幸福になる前に死んでしまったらどうするんだ？
- 伊藤 その時はその時さ。仕方ねえだろ。
- 高橋 もしだよ、もしその時が今日だったら、どうする？ 今日「死ね」と言われて、素直に死ねるか？
- 伊藤 そりゃイヤだね。そりゃ困る。
- 高橋 やっぱ「仕方ねえ」じゃ済まないじゃないか。
- 伊藤 まあ、死ぬまで生きるさ。
- 高橋 結局、お前、死なないから生きてるんだろ。それじゃ動物と一緒にじゃないか。
- ナレーション 高橋君には、幸福なんてつかの間のことで、死んだらなんにもならないように思われまし

た。

高橋 佐藤、お前はなんのために生きてる？

佐藤 そうだなあ。ちょっとキザだが、世のため、人のために役に立つためかな。

高橋 っそりゃカッコいいな。それで、実際に何をやるつもりなんだ？

佐藤 そう言われると困っちゃうんだよな。

高橋 チェ。

ナレーション 高橋君には、口先では「世のため、人のため」などと言っているが、心の中は、結局自分のことしか考えていない佐藤君が、偽善者のように思われたのです。友の不満足の答えに失望した彼は、とうとう担任でクリスチャンの吉田先生のところにやってきました。どこか普通の人と違うクリスチャンが、この問題についてどう考えているかは、彼にとってとても興味のあることだったのです。

高橋 先生。先生はなんのために生きていますか？

吉田先生 ほう、こりゃまたすごい質問だ。

高橋 加藤が死んでから、僕はずっとそのことを考えていたんです。教えてください。

先生 そうだな。君たちに真理を知ってもらうため、とでも言うておこうか。

高橋 “真理”ってなんですか？

先生 聖書に書いてあるイエス・キリストのことだよ。先生はね、ちょうど君ぐらいの年ごろに、このイエス・キリストによってすっかり変えられたんだ。イエス・キリストは、先生に、生きる喜び、生きる目的、生きる意味を与えてくださった。それで先生は、今じゃこの救い主キリストのために生きてると言ってもいい。言葉を換えれば、このイエス・キリストは先生の“生きがい”そのものだ。先生はね、いつもこのイエス・キリストのことを、皆に知ってもらいたいと思って、毎日、教壇に立っているんだよ。

高橋(モノローグ)(エコー)キリストのために…、生きる。——そんな生き方って、あるのか…。

<完>